

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [07529] 抗BP180抗体

受託開始日

- 平成22年10月1日(金)

抗BP180抗体

類天疱瘡(bullous pemphigoid:BP)は、自己免疫性水疱性疾患の一つです。中でも水疱性類天疱瘡は、天疱瘡が40～50歳台に好発するのに対し、70～90歳の高齢者に見られ、慢性で痒みのある緊満性(張りのある)水疱と紅斑がほぼ全身に混在多発することを特徴としています。

類天疱瘡患者の病変部の基底膜部にはIgGとC3の線状沈着が存在し、また血清中には、表皮基底膜部に対する分子量の異なる2種類の抗原(230kDのBP230と、180kDのBP180)に対するIgG自己抗体が認められます。その中の大部分がBP180の特定領域(NC16a)に反応性を示し、その抗体価は病態や治療効果に応じて変動することが確認されています。

本検査はNC16a領域のみをリコンビナントにより作成した抗原を用いているため、水疱性類天疱瘡の鑑別診断に適しており、また病勢とよく関連するため抗BP180抗体はステロイド投与等による治療効果判定に有用とされています。

検査要項

項目コード	07529
検査項目名	抗BP180抗体
検体量	血清 0.3mL
保存方法	冷蔵(4℃)
検査方法	EIA
基準値	9未満 (index値)
所要日数	3～6日
検査実施料	270点([D014]自己抗体検査「17」血清中抗BP180NC16a抗体)
判断料	144点(免疫学的検査)
定価	3,500円
備考	血清中抗BP180NC16a抗体は、ELISA法により、水疱性類天疱瘡の鑑別診断又は経過観察中の治療効果判定を目的として測定した場合に算定できる。

参考文献

黒田慶子, 他: 医学と薬学 57, 751～757, 2007.